

北九州憲法ネットニュース

発行 9条の会・北九州憲法ネット 2010年5月7日 第42号
 TEL592-5000 fax 571-4346
 803-0817 北九州市小倉北区田町13番21号田町ビル3F
 URL⇒<http://kitaq-kenpou.net/>

第9条

戦争の放棄、戦力の不保持、交戦権の否認

日本国民は正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

② 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

2010北九州憲法集会

楽しく憲法を学習、宿題も出しました。

4月29日、恒例の「北九州憲法集会」が芸術劇場中ホールで開かれました。今年は、少し趣向が変わって、「憲法の学校」というステージ。舞台を学校の教室に見立て、授業風景を見せながら、各科目ごとに、集会の参加者とともに憲法を考える構成となっています。

冒頭、校長先生として、多加喜悦男弁護士(実行委員長)が挨拶。この中で、普天間基地問題に触れ、「本来国民の安全を保障すべき条約が、逆に国民の安全を脅かしている。この矛盾を打破するには、今一度、憲法9条の謳う平和主義に立ち返り、その意義をアピールすること」を呼びかけて開幕しました。

「国語の時間」では、日本国憲法の前文にある言葉で、みんなに伝えたいものを見つける授業



国語の時間の授業風景

でした。「算数の時間」では、日本の防衛(軍事)予算の大きさを改めて認識し、お金の使い道を考える事を気づかせるものとなりました。

「社会の授業」は漫談のナオユキ先生が、面白おかしく、平和と憲法を語りました。

「芸術の時間」は、平和のイメージを絵(ピカソのゲルニカをイメージした)と川柳で表現しました。

「音楽の授業」では、女声合唱団ビオレッティによる、平和の歌の指導が行われました。

最後の「帰りの会」では、宿題も出されました。来年の憲法集会まで「私たち一人ひとりのそれぞれの観点から“平和”を考えて行動して行く」事が今年の宿題です。皆で頑張る事を誓い合って散会しました。



音楽の授業では、「戦争を知らない子どもたち' 83」

「いのちと憲法を語る」集いに1400人参加！

心に響く音楽と講演 九条の会福岡県連絡会主催

4月3日(土)福岡国際会議場で、「いのちと憲法を語る」集いが開かれました。九条の会福岡県連絡会の結成5周年の行事として取り組まれ、1400名の市民が参加しました。

最初に、九州交響楽団メンバーによる「弦楽四重奏の調べ」で参加者を音楽の魅力で酔わせました。講演は、経済界から品川正治氏(経済同友会終身幹事)、薬害肝炎全国原告団の山口美智子さん、九条の会事務局長の小森陽一氏の3人という、豪華な顔ぶれでした。

品川正治氏は、以前、北九州にも講演にも来ていただいております。なじみの方です。しかし、今年は86歳になられるとの事、その元気に頭が下がります。「最初の22年は大日本帝国憲法の下に、残りの64年は日本憲法の下で、主権者と生きてきた。」と切り出しました。そして、思想形成時期に戦争の中でした事述べて「戦争は人間が起こす、それを許さず止める事が出来るのも人間」と述べました。悲惨な戦争経験、そして、敗戦での帰還船の中で、初めて日本の憲法9条を目にした。そのとき、仲間も品川さんも、この9条の規定を読んで号泣した。「ここまで書いてくれたのかという思いだった」と述べます。

「今の戦争は、95%は庶民が死ぬ。人間として、戦争は許されない、憲法9条は人間の目で見ている、世界でたった一つのものだ。」「時の政権による解釈改憲の連続で、憲法9条の理念の旗はぼろぼろとなったが、旗竿は国民が握って離していない。」そして話は、品川さんの専門分野である、世界経済の面に向かいます。経済を人間の目で見えていない現在の状況を分析し、「2008年9月15日のアメリカのリーマンショックは日本にとっては”神風“だった。あと5年あの形で原理主義が続いていたら日本は取り返しのつかないようになったのではなかろうか」「AIG・・・世



大型スクリーンに映し出された講演する小森陽一事務局長

界最大の保険会社は、戦争によって成長して、ぼろもうけをした会社、まさに、アメリカの産軍複合体だ、かれらは、アメリカが戦争しないと困るのだ」「このような国と同盟を結び”価値観が同じ”という政治家たちがいるが、日本とアメリカはものの考え方が違う。今、憲法9条を守る人たちが、本当に頑張らねばならぬ時だ」と結び、会場から大きな共感の拍手が起きました。

第2の講演は薬害の訴訟で活躍された山口美智子さん。1600名の原告団の中心となり、全国を飛び回っている方です。この7年間に300人の原告の命を見送る悲しい日々でもありました。歌人としてその悲哀と怒りを詠います。薬害患者への治療はインターフェロンを使うため、その副作用で苦しみます。その状況を見ていた山口さんの息子が「母さんが、自分さえ産まなかったら・・・」と考えている事を知り、愕然となります。一層の薬害訴訟に勝つ信念を強めます。2007年から2009年まで猛烈に薬害の解決のための運動に集中します。30万筆の署名を積み上げ、100を超える自治体での意見書採択に成功し、鳩山内閣で、やっと解決のための基本法が成立しました。いのちの尊さを守る山口さんの講演は、まさに心に響くものになりました。



演奏する九州交響楽団有志の弦楽四重奏の調べ

最後の講演は、九条の会の事務局長として、まさに東奔西走している小森陽一氏。九条の会は2004年6月に9人の方の呼びかけで発足し、今日まで、国民に憲法を守ることを発信してきている。現在は、全国各地に8000に及ぼうとす

る「九条の会」ができて、活動をしてきている。小森氏は、この九条の会が果たした役割を、毎年4月に行われる読売新聞の世論調査の数値の変化で示しました。2004年4月の読売新聞の世論調査では「憲法を変える」という意見は65%だった。その後、2007年に安倍政権ができ、改憲の勢いが増す。この危機をうけて、全国各地の九条の会の活動の活発化し、その中で、世論が変化してくる。2008年の読売新聞の世論調査では、15年ぶりに「憲法9条を守る」意見が多数となった。まさに継続は力です。その後の北朝鮮問題等で、世論は変化を見せているが、国民が考える状況になってきている事に確信を持ち、「今こそ九条の会の出番である！手を抜かず、国民に語りかけていこう」と締めくくりました。

九条の会が記者会見、井上ひさしさんの逝去と九条の会活動

九条の会事務局は4月22日午後、国会内において九条の会記者会見を開きました。事務局からは小森事務局長と高田、小沢、川村各事務局メンバーが出席し、10数人の記者さんが参加しました。

小森事務局長が井上さんの逝去の報告と、6月19日の講演会の骨子、およびこの間の九条の会の活動などについて報告し、全国の草の根(地域、職場、学園、分野)の九条の会の結成数が7507に達したことを発表しました。これは昨年6月と比べて、64の増加です。伸び数が小さくなっているのは、すでに全国各地に相当数の会ができて、0から出発した当初の勢いをそのまま保つことは難しいという一種の胸突き八丁にきていることに加え、改憲を主張する人びとが一時的破竹の勢いを失った結果、改憲に反対する側に一種の安堵感が生じていることや、市町村合併にしたがって会の統合が行なわれていることなどが影響していると考えています。運動そのものは、独自の工夫を重ね、しっかり地



記者会見する、九条の会の小森陽一事務局長(中央)と小沢隆一(左)、高田健(右)の各氏
=22日参院議員会館

域に根付いた活動をしているところがたくさんあります。各ブロックで経験の交流を勧めながら、小学校区のようにお互いの顔がみえて、声を交わせるところで運動をつくるのがこれからの課題と考えています。今後、ネットワークを強め、自然発生的にだけではなく、相互に協力し合っ小学校区単位に会の結成を意識的に広げていくことが重要になっていることなどを報告しました。(「九条の会」メールマガジン詳細版 2010年4月25日第93号)

メルマガ編集部から 改憲手続き法の施行は延期すべきです

日弁連の宇都宮会長が4月14日、改憲手続き法の施行延期を要求する会長声明を出しました。「北海道新聞」も4月18日、社説で「このまま施行でよいか」と疑問を呈しました。

総務省はいまのところ、施行令のパブリックコメントをもとめ、強行しようとしています、各界からあがる疑問や延期の声を無視してはならないと思います。(「九条の会」メールマガジン詳細版 2010年4月25日第93号)

小倉憲法ネットと青い空9条の会が恒例の宣伝

小倉憲法ネットの毎月一回の憲法改悪反対の宣伝行動は、5月2日、小倉駅南口で行いました。今回は、「青い空9条の会」のメンバーが、コーラスで参加しての共同行動となりました。「翼をください」「折り鶴」「沖縄をかえせ!」や「青い空は」などをのびやかに歌い上げ、デッキ上を行き交う市民に憲法改悪を許すまい、沖縄からアメリカの基地は出て行けなどと訴えました。



カンパ有難うございます。そして、お願い。

「九条の会・北九州憲法ネット」は会費をとらず、皆さんからのカンパのみで運営しています。毎月一回「北九州憲法ニュース」を発行し、また時々の憲法講演会の案内チラシを作成していますが、ニュース、チラシ等の印刷費や郵送料の捻出に四苦八苦しています。皆様からのカンパを是非お願い致します。カンパにご協力いただける方は下記の郵便振替口座までお願い致します。

振替番号：01700-8-115768

名 義：「九条の会・北九州憲法ネット」

カンパ3月 久野精士 高智彦 高野和夫 小田原幸弘 村上憲子 黒坂佳男 吉本まさ江 広津輝男 戸上省二 戸上栄子
4月 三輪俊和 三輪幸子 安達恵美子 おりお総合法律事務所尾崎英弥 島内弥七 勝元紀 末安良光 五群千枝子 五群典夫 港誠次 久野精士 松井岩美 松井玲子 桜河内正明 古賀三千人 三崎英二 丹下徹 野瀬秀洋 玉井史太郎 長田正孝 本島富士子 三浦さと子 半晴武二郎 浜野栄治 浜野静子 多加喜悦男 松永奉義 渡辺末子 棚次奎介 大重幸彦 来田時子 藤井信幸 有馬和子 **メッセージ** あまり活動は出来ませんが、ニュース、資料等読ませて頂いています。九条の会の発展を願っています。ご苦労様です。 3/25 T.K ●カンパ 4/2 S.Y ●わずかですが申し訳ありませんが何かのお役に立てて下さい。 4/2 S.Y ●いつもお世話になります。少額ですが、切手代にして下さい。 4/5 G.T ●寄付金 4/6 H.S ●多忙に追われて、カンパができてすみません。私は加齢によってあまり活動ができません。すみません。 4/7 K.M ●平和カンパとして 4/7 M.E ●敗戦後65年今もなほ基地置く日本の屈辱見つむ 4/8 T.F ●憲法集会楽しみにしています。がんばって下さい。 4/15 H.T ●4月3日の福岡の九条の会5周年記念集会に参加。とても感動しました。 4/16 H.S ●少額ですみません。郵送料です。 4/26 K.T